

これからの社会を

七葉中学校

小田島

優輝

一発の原子爆弾が広島に落とされ、多くの
人々の命や幸せを奪った。八月六日から七二年。
僕たちは平和記念式典に参加し、原爆につい
て、平和について、未来についてとても考え
させられた。原爆資料館で見たホロホロの服
形の変わったビン、八時十五分で止まった時
計などを見てとても心が傷み、戦争というも
のの悲惨さを感じた。学校では学ぶことで
きかない戦争の残酷さ、人々の苦しみを知るこ
とができた。この体験を通して思ったことは
僕たちは戦争のことを客観的に見ていたのか
もしれないという事だ。その場では悲しい
事がたくさん起きていたにもかかわらず、僕
たちは戦争について詳しくは知らなかった。
しかし、原爆や戦争について学ぶことでより
身近に感じる事ができ、今後の世界を作っ
ていくのは自分たちだという大きな責任を痛

七葉中書表

小田島優輝

感させられた。
平和への誓いで心に残ったものがある。それは「原爆によつて家、家族、自由、笑顔、感情が失われてしまった」というものだ。二度とこんな悲劇が起こらないこれからの社会未来をつくらせていくのは僕たちだ。被爆者の体験談を聞けるのは僕たちが最後の世代だろうだ。だから今回の経験を多くの人に伝えていき、僕が出来ることをやりたいと思う。みなさんで作っていきましよう。戦争のない世界、原爆のない世界、平和な未来を。